

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 10 日

Table with columns for project name (事務事業名), policy system position (政策体系上の位置付け), financial system position (財務会計上の位置付け), and budget items (予算科目). Includes details for 'こども伝統文化教室' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Describes the goals and methods of the 'こども伝統文化教室' project.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators (①手段, ②対象, ③意図) and their trends from 29th to 30th fiscal year. Includes metrics like '教室開催に応募する団体数' and '参加児童・生徒数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing the breakdown of input costs (投入量) by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel (正規職員従事人数).

Table comparing actual expenses (30年度事業費実績) and budgeted expenses (01年度事業費予算) for the project.

Table for implementation content (4) 当該年度の実施内容, detailing activities for 01, 02, and 03 fiscal years. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	子ども伝統文化教室	事務事業No.	20202000623	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 文化庁の伝統文化子ども教室の補助金が終了した団体を対象に平成22年より開始。桜川市として子ども伝統文化教室助成金募集を案内。指導者からの開催依頼もあり意欲がみられ、参加者も増加した。祖父母、保護者からの期待もみられる。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 伝統文化の後継者育成事業は単年度で出来るものではない。そのため事務関係者からは、継続した申請が行われており、継続参加している小学生も多い。事業関係者も内部講師が行うことで、後継者育成への意欲も大きい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） 結びついている 生涯学習機会の充実、市民文化活動の促進、青少年の健全育成に整合する
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） 妥当である 市の伝統文化の向上、振興のために、後継者育成事業の活動経費として妥当である
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） 向上余地がある 子ども教室への参加者が、年々、低学年化している。小学生を取り巻く状況が変わってきており、部活動、スポーツ少年団活動などにより参加者が少なくなっているため、土曜日などに子育て支援等と提携して開催することも考慮すべきである。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） 影響有 文化協会の人材育成意欲の低下、伝統文化の停滞
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） (他に手段がある場合)⇒具体的な手段、事務事業名 連携ができる 子育て支援等との連携の可能性はある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） 削減余地がない 内部講師の講師料は対象外であるため、事業費は必要経費のみとなり、最小限の事業費である
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） 公正・公平である 材料費、講師謝礼の一部負担は受益者に負担させることはやむを得ない

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 参加者は低学年が多く、参加費も実費のみで伝統文化に触れ、継続する子どもが多くなってきている。いけばな、茶道だけではなく、他の部門にも範囲を広げ、日本文化を体験できる機会が多くなった。より多くの子ども達が参加できるよう、土曜日、日曜日だけではなく、放課後など学校教育との連携も図っていくことが必要。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 ・伝統文化教室の内容の充実を図り多くの子どもたちが参加できる機会を設ける。また、保護者により理解を示してもらえよう、親子での伝統文化教室への参加も働きかけていく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ④																						
コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続（現状維持） C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続（改革改善を行う） D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>